第7 公営企業会計の状況

地方公営企業とは、地方公共団体が直接、公共の利益を目的として経 営する企業です。熊本県では、電気事業、工業用水道事業、有料駐車場 事業、病院事業の4事業を経営しています。

第7 公営企業会計の状況

1 電気事業

電気事業は、電力資源を開発し、発生電力の卸供給を行うものです。 現在、次の発電所の経営を行っています。

名	称	位	置	最大出力
市房第一	一発電所	球磨郡水_	上村	15, 100kW
市房第二	二発電所	球磨郡湯前	前 町	2, 300kW
緑川第-	一発電所	下益城郡美	里町	28, 500kW
緑川第二	二発電所	下益城郡美	里町	6, 100kW
緑川第三	三発電所	下益城郡美	里町	540kW
笠 振 多	発 電 所	球磨郡水_	上村	1, 100kW
菊 鹿 多	発 電 所	山 鹿	市	560kW
阿蘇車帰属	風力発電所	阿 蘇	市	900kW

(1) 平成30年度当初予算の状況

平成 30 年度当初予算における収益的収支は、市房発電所のリニューアル工事に伴う発電停止及び修繕費等の増加により、平成 29 年度当初予算と比較し、収入については減、支出については増を見込んでいます。

また、資本的収支については、主要4発電所のリニューアル工事に伴い、企業債による収入の 増及び工事費等による支出の増を見込んでいます。

							平成30年度	平成2	9年度	比	較
区	分		科	-	目		当初予算額	当初予算額	最終予算額	(A) – (B)	(A) - (C)
							(A)	(B)	(C)	(A) - (B)	(A) - (C)
	収	事業収	益								
	HX	営	業	Ц	仅	益	1, 240, 887	1, 605, 435	1,605,435	▲ 364, 548	▲ 364, 548
収	入	営	業	外	収	益	184, 301	86, 876	67, 119	97, 425	117, 182
益			뒭	ŀ			1, 425, 188	1, 692, 311	1, 672, 554	▲ 267, 123	4 247, 366
44		事業費									
的	+	営	業	3	費	用	1,682,602	1, 587, 271	1,560,947	95, 331	121,655
収	支	営	業	外	費	用	14,755	17,646	17,646	▲ 2,891	▲ 2,891
支	出	特	別	ŧ	損	失	6, 150	19,032	19,032	▲ 12,882	▲ 12,882
	田	予		備		費	40,000	40,000	40,000		
			計	ŀ			1, 743, 507	1, 663, 949	1, 637, 625	79, 558	105, 882
		資本的	収入								
	収	他会	計か	らの	返還	金金	265, 554	265, 554	265, 554		
資		企		業		債	2, 790, 000	1,694,000	1, 319, 000	1, 096, 000	1, 471, 000
	入	荒瀬	ダム関	連っ	交付金	仓等	90, 701	180, 968	116, 170	▲ 90, 267	▲ 25, 469
本			퐒	ŀ			3, 146, 255	2, 140, 522	1, 700, 724	1,005,733	1, 445, 531
的		資本的	支出								
収	支	建	設	改	良	費	3, 127, 343	2, 637, 450	2, 163, 023	489, 893	964, 320
	2	企	業 債	償	還	金	109, 224	116, 464	116, 464	▲ 7,240	▲ 7,240
支	出	他名	~ 信 ź	· 0	繰出	金	265, 554	265, 554	265, 554		
	Ш	予		備		費	50,000	50,000	50,000		
			計	ŀ			3, 552, 121	3, 069, 468	2, 595, 041	482, 653	957, 080

(2) 平成29年度下半期における補正予算の状況

次のとおり、平成29年11月及び平成30年2月に収入予算及び支出予算の補正を行いました。

(単位:千円)

				平成2	9年度		平成28年度
区	分	科目	9月補正後 現計予算額	11月補正予算額	2月補正予算額	計	2月補正予算額
	収	事業収益					
ılı	40	営 業 収 益	1,605,435			1,605,435	
収	7	営 業 外 収 益	86, 876		▲ 19,757	67, 119	496
益	入	Ħ	1, 692, 311		▲ 19,757	1, 672, 554	496
的		事業費					
нэ	支	営 業 費 用	1,587,271	9, 700	▲ 36,024	1,560,947	26, 836
収	^	営 業 外 費 用	17, 646			17,646	
支	111	特別 損失	19, 032			19,032	
	出	予 備 費	40,000			40,000	
		ā l	1, 663, 949	9, 700	▲ 36,024	1, 637, 625	26, 836
		資本的収入					
	収	他会計からの返還金	265,554			265,554	
資	_	企 業 債	1,694,000		▲ 375,000	1, 319, 000	
本	入	荒瀬ダム関連交付金等	180, 968		▲ 64, 798	116, 170	211
4		äl	2, 140, 522		439,798	1, 700, 724	211
的		資本的支出					
収	支	建設改良費	2,637,450	89	▲ 474, 516	2, 163, 023	▲ 2
		企業債償還金	116, 464			116, 464	
支	出	他会計への繰出金	265, 554			265, 554	
	Щ	予 備 費	50,000			50,000	
		āl	3,069,468	89	▲ 474, 516	2, 595, 041	▲ 2

(3) 平成 29 年度における予算の執行状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位:千円・%)

				最終予算額	執行額	収入・支出率	差引過不足額
N N	分	科	目	(A)	(B)	(B)/ (A)×100	(B)-(A)
	収	事業収益					
収	12	営 業 中	又 益	1,605,435	1, 593, 018	99. 2	▲ 12, 417
	_	営 業 外	収 益	67, 119	56, 679	84. 4	▲ 10, 440
益	入	計		1, 672, 554	1,649,697	98.6	▲ 22,857
的		事業費					
нЭ	支	営 業 費		1, 560, 947	1, 349, 128	86. 4	▲ 211,819
収		営業外	費用	17,646	39, 120	221. 7	21, 474
+	ш	特 別 排	, , ,	19, 032	203, 678	1,070.2	184, 646
支	出	予 備	費	40,000	0	0.0	▲ 40,000
		計		1, 637, 625	1, 591, 927	97. 2	▲ 45,698
		資本的収入					
	収	他会計からの		265, 554	265, 554	100.0	0
資	4X	企業	債	1, 319, 000	346, 000	26. 2	▲ 973, 000
	入	固定資産売		0	36, 212	_	36, 212
本		荒瀬ダム関連ダ	交付金等	116, 170	232, 170	199. 9	116, 000
的		計		1, 700, 724	879, 936	51.7	▲ 820, 788
		資本的支出					
収	支	建設改	良費	2, 163, 023	1, 341, 879	62. 0	▲ 821, 144
支		企業債償		116, 464	116, 463	100.0	▲ 1
	出	他会計への		265, 554	265, 554	100.0	0
		予 備	費	50,000	0	0.0	▲ 50, 000
		計		2, 595, 041	1, 723, 896	66.4	▲ 871, 145

⁽注1) 各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない 場合があります。

2 工業用水道事業

工業用水道事業は、工業用地等に立地している企業に工業用水の供給を行うものです。現在、有明・八代・苓北の3工業用水道事業の経営を行っています。

名 称	位 置	給水区域	水利権(最大取水量)	給水能力
有明工業用水道	玉名市・荒尾市	荒尾市	36,374立方メートル/日	33,860立方
	長洲町	長 洲 町	(0.421立方メートル/秒)	メートル/日
八代工業用水道	八代市	八代市	29,462立方メートル/日	27,300立方
			(0.341立方メートル/秒)	メートル/日
苓北工業用水道	苓北町	苓 北 町	7,742立方メートル/日	7,200立方
			(0.090立方メートル/秒)	メートル/日

(1) 平成 30 年度当初予算の状況

平成30年度当初予算における収益的収支は、平成29年度当初予算と比較すると、収入においては、八代工業用水道事業の長期前受金及び雑収益等による増、支出においては、有明工業用水道事業の企業債利息等による減を見込んでいます。

また、資本的収支は、収入においては、企業債により、支出においては、3工業用水道事業の建設改良費及び有明工業用水道事業の企業債償還金等により、平成29年度当初予算と比較し、収入及び支出ともに増を見込んでいます。

			平成30年度	平成2	9年度	比	<u>(単位:十円)</u> 較
区	分	科目	当初予算額	当初予算額	最終予算額	(A) (D)	(4)
			(A)	(B)	(C)	(A) - (B)	(A) - (C)
	収	事業収益					
収	HX	営 業 収 益	736, 817	736, 463	736, 463	354	354
	-	営 業 外 収 益	370, 233	356, 038	355, 741	14, 195	14, 492
益	入	計	1, 107, 050	1,092,501	1, 092, 204	14, 549	14, 846
的		事業費					
収	支	営 業 費 用	1, 056, 740	1, 057, 363	1, 056, 365	▲ 623	375
		営 業 外 費 用	90, 878	109, 135	109, 155	▲ 18, 257	▲ 18, 277
支	出	予 備 費	10,000	10,000	10,000		
		計	1, 157, 618	1, 176, 498	1, 175, 520	1 8,880	▲ 17,902
		資本的収入					
		企 業 債	362,000			362,000	362,000
	収	長期借入金	488, 706	531, 028	531, 028	▲ 42, 322	▲ 42, 322
		工事受託金	82, 954	3, 425	3, 425	79, 529	79, 529
資	入	補 助 金	243, 181	157, 244	158, 798	85, 937	84, 383
本		会計内返還金	7,749	4, 387	4, 387	3, 362	3, 362
44		計	1, 184, 590	696, 084	697, 638	488, 506	486, 952
的		資本的支出					
収		建設改良費	474, 486	10, 493	10, 493	463, 993	463, 993
支	支	企業債償還金	551, 874	433, 180	433, 180	118, 694	118, 694
		長期借入金償還金	300, 742	292, 259	297, 380	8, 483	3, 362
	出	補助金返還金			3, 528		▲ 3,528
		予 備 費	20,000	10,000	10,000	10,000	10, 000
		計	1, 347, 102	745, 932	754, 581	601, 170	592, 521

(2) 平成 29 年度下半期における補正予算の状況

次のとおり、平成29年11月及び平成30年2月に収入予算及び支出予算の補正を行いました。

(単位・千円)

				平成2	29年度		平成28年度
X	分	科目	9月補正後 現計予算額	11月補正予算額	2月補正予算額	計	2月補正予算額
		事業収益					
収	収	営 業 収 益	736, 463			736, 463	
1	_	営 業 外 収 益	356, 038		▲ 297	355, 741	▲ 510
益	入	特別利益					16, 076
,,		計	1, 092, 501		▲ 297	1, 092, 204	15, 566
的		事業費					
収	支	営業費用	1, 057, 363	1,640	▲ 2,638	1, 056, 365	▲ 24, 455
1		営業外費用	109, 135		20	109, 155	00.045
支	出	特別損失 予備費	10.000			10.000	20, 817
	ш	T	10,000	1, 640	A 2 610	10,000	A 2 620
-		資本的収入	1, 176, 498	1,040	▲ 2,618	1, 175, 520	▲ 3,638
	収	長期借入金	531, 028			531, 028	▲ 53,300
	HX	工事受託金	3, 425			3, 425	a 00, 000
資		補 助 金	157, 244		1, 554	158, 798	53, 300
	入	会計内返還金	4, 387		_,	4, 387	,
本		計	696, 084		1, 554	697, 638	0
的		資本的支出					
нэ		建設改良費	10, 493			10, 493	
収	支	企業債償還金	433, 180			433, 180	
		長期借入金償還金	292, 259		5, 121	297, 380	
支		補助金返還金			3, 528	3, 528	
	出	会計内返還金					▲ 53, 300
		予 備 費	10,000			10,000	
		計	745, 932		8, 649	754, 581	▲ 53,300

(3) **平成 29 年度における予算の執行状況**(平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位:千円・%)

					(単位・1 口* /0/		
 	分	科目	最終予算額	執行額	収入・支出率	差引過不足額	
	.),	117 🛱	(A)	(B)	(B)/ (A)×100	(B)-(A)	
		事業収益					
収	収	営 業 収 益	736, 463	681, 044	92. 5	▲ 55, 419	
益	入	営 業 外 収 益	355, 741	352, 850	99. 2	▲ 2,891	
ш.		計	1,092,204	1, 033, 894	94.7	▲ 58,310	
的		事業費					
ul to t	支	営 業 費 用	1, 056, 365	948, 856	89.8	▲ 107, 509	
収		営 業 外 費 用	109, 155	106, 866	97.9	▲ 2, 289	
支	出	予 備 費	10,000	0	0.0	▲ 10,000	
		計	1, 175, 520	1, 055, 722	89.8	▲ 119,798	
		資本的収入					
	収	長 期 借 入 金	531, 028	531, 028	100.0	0	
		工事受託金	3, 425	256, 817	7, 498. 3	253, 392	
資	-	補 助 金	158, 798	176, 864	111. 4	18, 066	
本	入	会計内返還金	4, 387	4, 388	100.0	1	
		計	697, 638	969,097	138.9	271, 459	
的		資本的支出					
ηΔ		建設改良費	10, 493	372, 332	3, 548. 4	361, 839	
収	支	企業債償還金	433, 180	433, 180	100.0	0	
支		長期借入金償還金	297, 380	297, 380	100.0	▲ 0	
	出	補助金返還金	3, 528	3, 528	100.0	▲ 0	
		予 備 費	10,000	0	0.0	▲ 10,000	
		計	754, 581	1, 106, 419	146.6	351, 838	

⁽注1) 各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致 しない場合があります。

⁽注2)資本的収入及び支出の執行額が最終予算額を超過しているのは、平成28年度の予算の 一部を平成29年度に繰り越して執行した工事があったためです。

3 有料駐車場事業

有料駐車場事業は、熊本市中心部の交通混雑緩和等のため、有料駐車場を経営するものです。 現在、熊本市中央区安政町で県営有料駐車場を、新屋敷地域の2カ所で県営第二有料駐車場を 経営しています。

なお、平成28年度から指定管理者制度(利用料金制)を導入し、指定管理者が管理運営全般を行っています。

名	称	位	置	収容台数
熊本県営有	「料駐車場	熊本市中央	298台	
熊本県営第二	有料駐車場	熊本市中央	 中区新屋敷	37台

(1) 平成30年度当初予算の状況

平成30年度当初予算における収益的収支は、支出において、平成29年度当初予算に計上した 熊本地震に係る災害復旧費用が皆減となったことによる大幅な減を見込んでいます。

また、資本的収支については、計上していません。

					平成30年度	平成2	9年度	比	較
区	分	科	目		当初予算額	当初予算額	最終予算額	(A) - (B)	(A) - (C)
					(A)	(B)	(C)	(A) (B)	(A) (C)
		事業収益							
	収	営 業	収	益	122, 808	122, 335	122, 335	473	473
収		営業	小 収	益	2, 053	6, 314	5, 983	▲ 4, 261	▲ 3,930
	入	特別	利	益	4, 000	5, 400	5, 400	▲ 1,400	▲ 1,400
益		計			128, 861	134, 049	133, 718	▲ 5, 188	▲ 4,857
的		事業費							
収	支	営業	費	用	55, 401	49,600	45, 926	5, 801	9, 475
支	X	営業	小 費	用		3,000	3,000	▲ 3,000	▲ 3,000
	出	特別	損	失		45,000	45,000	▲ 45,000	▲ 45,000
	ш	予 値	莆	費	3,000	3,000	3,000		
		計			58, 401	100, 600	96, 926	▲ 42, 199	▲ 38,525
資	収	資本的収入							
本	入								
的	,	資本的支出							
	支	建設。	友 良	費		20, 952	20, 952	▲ 20,952	▲ 20,952
収	出	予 侦	莆	費		3,000	3,000	▲ 3,000	▲ 3,000
支		計				23, 952	23, 952	▲ 23,952	▲ 23,952

(2) 平成29年度下半期における補正予算の状況

次のとおり、平成30年2月に収入予算及び支出予算の補正を行いました。

(単位:千円)

						平成2	9年度		平成28年度
区	分	科	目		9月補正後 現計予算額	11月補正予算額	2月補正予算額	計	2月補正予算額
		事業収益	<u>±</u>						
収	収	営	業収	益	122, 335			122, 335	
		営業	美 外 収	益	6, 314		▲ 331	5, 983	▲ 341
益	入	特	別 利	益	5, 400			5, 400	
			計		134, 049		▲ 331	133, 718	▲ 341
的		事業費							
	支	営	業費	用	49,600		▲ 3,674	45, 926	▲ 54, 427
収		営業	美 外 費	用	3,000			3,000	
	ш	特	別 損	失	45,000			45,000	12,000
支	出	予	備	費	3,000			3,000	
			計		100, 600		▲ 3,674	96, 926	▲ 42,427
資	収	資本的場	又入						
本	入								
的		資本的多	5出						
	支	建影	改 改良	費	20, 952			20, 952	
収立	出	予	備	費	3,000			3,000	
支			計		23, 952			23, 952	

(3) 平成 29 年度における予算の執行状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位:千円・%)

	.\	٠, ١		最終予算額	執行額	収入・支出率	差引過不足額
X.	分	科目		(A)	(B)	(B)/ (A)×100	(B)-(A)
		事業収益					
収	収	営 業 収	益	122, 335	117, 876	96. 4	▲ 4,459
		営 業 外 収	益	5, 983	9, 579	160. 1	3, 596
益	入	特 別 利	益	5, 400	696	12.9	▲ 4,704
		計		133, 718	128, 150	95.8	▲ 5,568
的		事業費					
	支	営 業 費	用	45, 926	42, 059	91.6	▲ 3,867
収		営 業 外 費	用	3,000	0	0.0	▲ 3,000
		特 別 損	失	45,000	0	0.0	▲ 45,000
支	出	予 備	費	3,000	0	0.0	▲ 3,000
		計		96, 926	42,059	43.4	▲ 54,867
資	収	資本的収入					
本	入						
		資本的支出					
的	支	建設改良	費	20, 952	19,772	94. 4	▲ 1, 180
収	出	予備	費	3,000	0	0.0	▲ 3,000
支	ш	計		23, 952	19, 772	82.5	4 , 180

⁽注) 各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合があります。

4 病院事業

病院事業では、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 19 条の 7 に基づき、県が設置を 義務付けられている精神科病院 1 病院を運営しています。

名 称	位置	診療科目	病床の種類及び病床数
熊本県立こころ	熊本市	精神科 神経内科 内科 呼吸器内科	精神病床 190床
の医療センター	南区富合町		結核病床 10床

⁽注)平成20年4月1日から50床(老人治療病棟)休床中

(1) 平成30年度当初予算の状況

平成30年度当初予算について、平成29年度当初予算と比較すると、収益的収支の収入については、医業外収益の増により82,453千円の増となっています。

また、支出については、給与費及び電子カルテ導入支援経費の増等により 83,249 千円の増となっています。

次に、資本的収支については、収入は過年度分損益勘定留保資金で対応することからゼロとなっています。支出は建設改良費の減少により、24,511 千円の減となっています。

			平成30年度	变 平成29年度		比 較	
区	分	科目	当初予算額	当初予算額	最終予算額	(A) - (B)	(A) - (C)
			(A)	(B)	(C)	(A) (b)	(A) (C)
	収	病院事業収益					
収	収	医 業 収 益	845, 079	856, 426	783, 332	▲ 11, 347	61, 747
34	入	医 業 外 収 益	876, 150	782, 350	782, 350	93, 800	93,800
益		āl	1, 721, 229	1, 638, 776	1,565,682	82, 453	155, 547
的		病院事業費用					
収	支	医 業 費 用	1, 658, 962	1, 569, 395	1, 496, 920	89, 567	162, 042
		医 業 外 費 用	61, 773	68, 091	68, 091	▲ 6,318	▲ 6,318
支	出	予 備 費	50	50	50		
	計		1, 720, 785	1, 637, 536	1, 565, 061	83, 249	155, 724
	収	資本的収入					
資	入	āl					
本的	資本的支出						
収	支	建設改良費	98, 369	129, 198	129, 198	▲ 30,829	▲ 30,829
支	出	企業債償還金	219, 123	212, 805	212, 805	6, 318	6, 318
		āl	317, 492	342,003	342,003	▲ 24,511	▲ 24,511

⁽注)平成30年度当初予算における資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額317,492千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

(2) 平成 29 年度下半期における補正予算の状況

次のとおり、平成29年12月及び平成30年2月に収入及び支出予算の補正を行いました。

(単位:千円)

							(単位・1円)
				平成28年度			
区分		科目	9月補正後 現計予算額	12月補正予算額	2月補正予算額	計	2月補正予算額
		病院事業収益					
収	収	医 業 収 益	856, 426		▲ 73,094	783, 332	57, 147
	7	医 業 外 収 益	782, 350			782, 350	
益	入	計	1, 638, 776		▲ 73,094	1, 565, 682	57, 147
的		病院事業費用					
収	支	医 業 費 月	1, 569, 395	11, 203	▲ 83,678	1, 496, 920	42, 903
		医 業 外 費 用	68, 091			68, 091	
支	出	予 備 費	50			50	
		計	1, 637, 536	11, 203	▲ 83,678	1, 565, 061	42, 903
資	収 資本的収入						
本	入	計					
的	資本的支出						
	支	建設改良費	129, 198			129, 198	
収	出	企業債償還金	212, 805			212, 805	
支		計	342, 003			342, 003	

⁽注)資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額342,003千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

(3) **平成 29 年度における予算の執行状況** (平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位·千円·%)

						1	<u> 望位:十円・%)</u>
IZ.	:分	科目		最終予算額	執行額	収入・支出率	差引過不足額
	. 7,1			(A)	(B)	(B)/(A)×100	(B)-(A)
	病院事業収益						
収	ЧX	医 業 収	益	783, 332	772, 712	98.6	▲ 10,620
	入	医 業 外 収	益	782, 350	788, 736	100.8	6, 386
益		II -		1, 565, 682	1, 561, 448	99.7	▲ 4,234
的		病院事業費用					
収	支	医 業 費	用	1, 496, 920	1, 450, 291	96. 9	▲ 46,629
		医 業 外 費	用	68, 091	67, 991	99. 9	▲ 100
支	出	予 備	費	50		_	▲ 50
		Ħ		1, 565, 061	1, 518, 282	97.0	▲ 46,779
資	収						
本	入						
		資本的支出					
的	支	建設改良	費	129, 198	179, 879	139. 2	50, 681
収	出	企業債償	量 金	212, 805	212, 804	100.0	1
支		計		342,003	392, 684	114. 8	50, 681

⁽注1)各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合があります。

⁽注2)資本的支出の執行額が最終予算額を超過しているのは、平成28年度予算の一部を平成 29年度に繰り越して執行した工事があったためです。